

社会福祉法人安房広域福祉会 広報誌

にじのかけはし

vol.
58
2023.03



発行年月日
令和5年3月31日

発行
社会福祉法人 安房広域福祉会
〒294-0231 千葉県館山市中里291
TEL 0470-28-2422
FAX 0470-28-2424
<http://www.nakazato.or.jp/>



法人研修会

企画委員 安西 裕介

コロナが流行し全事業所が集まつての研修会が難しい状況が長く続きましたが、令和5年2月25日、3月4日の2回に分け、約3年ぶりに顔を合わせての法人研修会開催となりました。

内容は権利擁護と、岡田統括施設長より「私たちが社会にできること」をテーマに講義を頂き、2部構成で行いました。

権利擁護研修では、虐待防止法の説明事例検討を小グループに分かれ行いました。支援をしていく上で記録また、疑問に思つたことはそのままにせずに周りの職員と相談し合える環境作りが大切であるとの話しもありました。

岡田統括施設長の講義では、共生社会の実現の為に、私たち安房広域福祉会ができること、何か困ったことがあつたらあそこに相談すれば何とかしてくれる!と言われる法人を目指すために職業人としての在り方、仕事に対する取組みと行動など貴重なお話しを頂きました。

地域から頼りにされる法人となる為に、使命感を持ち従事していこうと思います。



中里の家

支援員 平嶋 洋介

12月23日にクリスマス会を実施しました。開催をお知らせするポスターが掲示されると、指を差して楽しみと話されている方もおりました。昼食会では豪華な食事を召し上がり満足されておりました。お腹が満たされた後はお待ちかねのプレゼント配付です。サンタクロースからプレゼントを貰い、皆さん喜ばれておりました。その後にクリスマスソングの合唱と職員・利用者によるレクリエーションを行い、楽しい一日となりました。



クリスマス会



こすもす

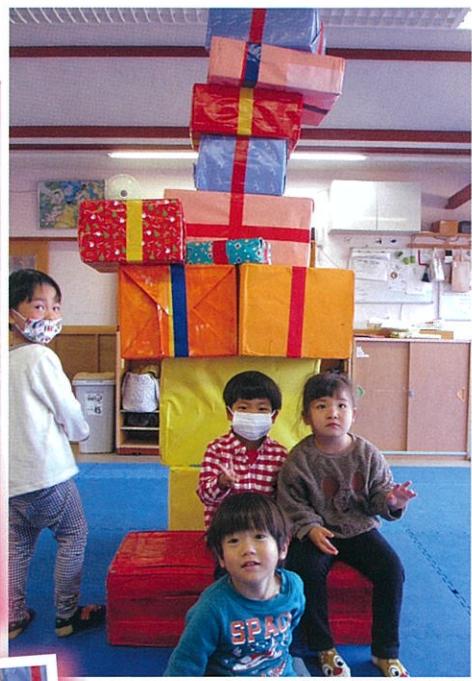
ブランボークリスマス！

保育士 岡田 記代子

クリスマスに年末年始と、楽しみがいっぱいの12月。つくしんぼクラスでは保護者の皆様にもご参加いただきクリスマス会を行いました。

親子でクリスマスの飾りを制作し、みんなでプレゼントの箱を積み上げるゲームをして大いに盛り上りました。

最後にユニークなトナカイと共に登場したのはサンタさん！お子様達は思わずサンタさんの登場にビックリしながらもプレゼントを受け取ると、とびっきりの笑顔を見せてくれました。



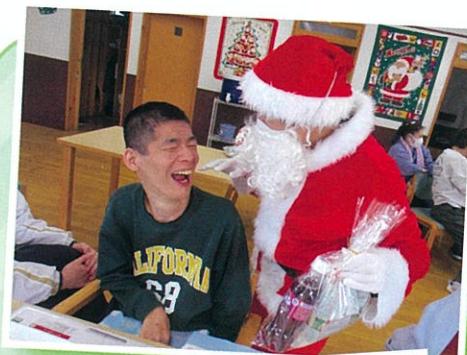
桜の里

やっぱり12月といえど…。

支援員 村田 陽菜

12月といえばやっぱりクリスマス会ですね！今回は趣旨を変え、今まで挑戦していなかつた、「リース作り・バルーンアート」を行いました。初の試みでしたが大成功。ご家族へのおみやげもできて良かつたです。

また、例年通りケーキ会食を行いました。ですが残念なことにコロナの影響もあり、多数の利用者さんがお休みに…。来年こそは皆来れるといいなと思うクリスマス会になりました。



こすもす

「おまわりさんがきた！」

児童指導員 豊崎 裕一

「おーい！おーい！」と大きな声で包丁を持つ男の人が!!職員が一斉に「みんな逃げる！」と急いで避難。奥の部屋へと必死で逃げ隠れ。「はい！もういいですよー」と子供たちを集めていた時でした。「うわーかっこいい！」初めて見た「！」と、子供たちから歓声があがりました。子供たちに囲まれたその輪の中には警察手帳を手にした『おまわりさん』!? そうです!! 今回は、館山警察署員の方に来所していただき「不審者対応訓練」を実施しました。子供たちの喜ぶ姿も印象的でしたが、その脇で女性職員の目もキラキラしていたような…?

本物のおまわりさんだとわかつて、子供たちの顔にはいつもの笑顔が戻り、お話しを聞いたり、プレゼントをもらいました。お話しの中でとても印象に残ったことは、いつもと違う雰囲気や、誰かが来たーと「察知する」ことが大切であり、周りに知らせることが必要とのことで、大変勉強になりました。さらなる防犯への意識を高めていきたいと思います。



中里の家

中里紅白歌合戦

支援員 鈴木 健一

12月27日に年末忘年会が行われました。年末忘年会も今回で3回目。コロナ禍でも利用者が楽しめる行事を目指しています。そして今回は第2回紅白歌合戦を行いました。男性の白組と女性の紅組でカラオケバトルを行いました。どちらも譲らぬ勝負となりましたが、ボンボンを持ったスクールメイツがたくさん登場したおかげで、今回は紅組が勝利しました。歌合戦が終了してからは、年末という事でベートーヴェンが登場し、みんなで「喜びの歌」を歌いました。みなさんテンションも高くて楽しい歌合戦になりました。



素敵な日常 スナップ写真





南總ふれあいコンサート開催

令和5年3月15日、千葉県南總文化ホールのご協力で『南總ふれあいコンサート』が中里ワークホームのホールにて開催されました。

ヴァイオリニストの白井麻友さん、

ピアニストの小野哲也さんの演奏に、

素敵なひと時を過ごしました。



職員の趣味や日常の1コマを紹介します

杉本の部屋

第6回は 桜の里 看護師
杉本 裕子さん

天職として医療への道に進み、沢山の感動を受けた中で、特に心に残っている二つをお話したいと思います。

まず一つは看護学生の時、実習において出産に立ち会う事ができました。無事出産され大きな産声に、産婦さんの「五体満足ですか?」と言う問いに、「元気な男の子ですよ」と助産師の労いある言葉かけに母となつた頬には涙が見られました。私にはその涙がキラリと光り、助産師への志さしを決意させてくれました。そして可愛い生命の誕生に関わり、私自身のエネルギー源でもありました。夜仕事(お産)が終り駐車場へ行くまでの間、月と星を眺めるのも癒しの一つになっていました。二日月から満月に大きくなるまでの経過を妊娠経過に例えて見てている部分もありました。(職業病かな?)

二つ目は看護師として訪問業務の中で利用者さんの限られた中から、一割負担の利用料として手に受け取った一百五十円の重さんは、ズッシリと強く感じた事は今も忘れられません。初心に返り仕事の大切さを痛感した場面でもありました。

私は現在、桜の里利用者さん一人一人の笑顔と、職員の皆様に支えて頂き仕事に取り組んでいます。元氣も頂いています。

人生百年の時代、これからも沢山の感動を受けながら、感謝の気持ちを忘れず、働ける有り難さと今までの経験を活かし医療者の一人としてお役に立てたらと思います。

第7回は

次回、
誰が登場するのか
お楽しみに!

天職としての感動

中里の家

豆まき

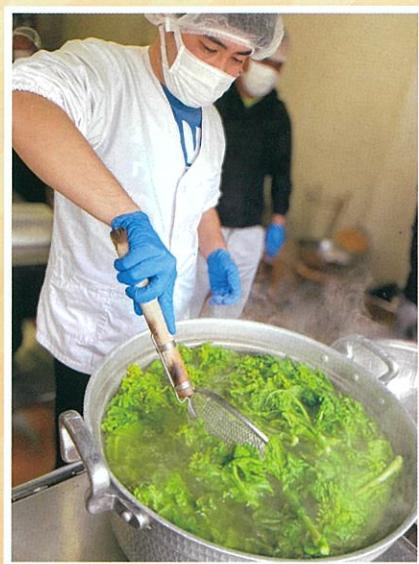
支援員 大橋 隆弘

今年も来ました豆まきの季節。何かと生活に制限を設けるを得ない日々が続く中で、皆さん心のモヤモヤをボールに乗せて盛大にまきました。皆さんのモヤモヤが大きすぎて鬼役も大変です…。



中里ワークホームでは、10月に植えた菜花が収穫時期を終えました。収穫した菜花はさつと茹で、中里ワークホーム秘伝のタレに漬け込めば、菜花漬けの完成です。

利用者の皆さんそれぞれに役割分担があり、手際良く丁寧に仕上げています。春の訪れを食して感じる菜花漬け、是非ご賞味ください。



中里 ワークホーム

春といえば…

支援員 石井 昌人



ワークス 館山

地域の一員として

支援員 戸田 幸輝

作業の合間を縫い奉仕作業として、ワークス館山周辺と近隣の清掃活動を行いました。寒風吹き荒れる中でしたが、利用者の皆様も快く参加して下さりました。活動中にお会いした地域の方からは感謝の言葉をいただき、より一層取り組むことができました。今後も継続的に実施し少しでも地域貢献ができると思います。

和麺家中里で春を味わおう

支援員 伊藤 学

皆さん、お待ちかねの春がやってきました！寒い日に暖かい蕎麦をするのも良いですが、新緑を感じ、春の陽気とたわむれながら蕎麦をするのもまた一興ですよね。

そんな中、せっかくのお蕎麦を召し上がるなら「和麺家中里」はいかがでしょうか。季節の食材を取り入れた天ぷらをご用意しておりますので、春を感じること間違いなし。

また、「和麺家中里」では変わりダネの天ぷらもご用意しておりますので、春「以上」のものを感じができるかも？

さらに、新メニューとして「大海老天もり・天重」も始めました。ボリューム満点で心もお腹も満たされる一品です。

今年の春は、ぜひ「和麺家中里」から始めてみませんか。



お問い合わせ先

和麺家中里

千葉県館山市北条1239-1
0470(25)7322

営業日・時間

月～金曜日 11:30～13:30



最新情報はこちる



社会福祉法人
安房広域福祉会HP



新職員紹介

中里の家

支援員
岩田 光世
いわた みつよ

趣味 カフェ巡り
座右の銘 ポジティブ

